

第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025年度評価報告書作成方針

令和8年7月

神奈川県政策局自治振興部地域政策課

評価方法の見直し

1 昨年度の議論の振り返り

■評価方法の見直しについて

< 県議会意見（要旨） >

- 基本目標3の評価案は「順調に進んでいます」とのことだが、数値目標「希望出生率の実現」の実績値である合計特殊出生率が低下し続けている中で、順調に進んでいるといえるのか。
- 合計特殊出生率の本県の状況からしても、基本目標3の「順調に進んでいます」との評価を見直すべき

< 地方創生推進会議意見（要旨） >

- KPIの進捗状況を踏まえて「順調に進んでいる」という二次評価案を評価部会で決定したが、数値目標が目標値から乖離を続ける中で評価に違和感を持たれるのもやむを得ない
- 基本目標3のほとんどの小柱でKPIが順調に達成しているにも関わらず合計特殊出生率が下がっていることが根本的な課題であり、**次年度以降の一次評価のあり方の再検討が必要**

昨年度の一次評価における問題点

- K P I 達成率を基にした進捗状況について、「順調に進んでいます」と区分する際の基準を「小柱のK P I 達成率の平均値が90%以上」としており、2024年度評価におけるK P I 進捗状況を加味すると、「順調に進んでいます」と区分される小柱が約8割であり、評価に偏りが生じている。
- 主な取組ごとに取組結果と今後の取組に向けた課題と方向性を記載することで定性的な評価要素をカバーしているが、K P I 達成率を基にした進捗状況を4段階の区分で示していることから、定量的な評価要素が強調されてしまう。

2025年度評価においてはより定性的な要素を踏まえた一次評価の方法を検討

2 一次評価の見直し内容

見直しの方向性

- 「総合分析」として、K P I の進捗状況だけでなく、主な取組の取組結果等の定性的な要素も踏まえた、4 段階評価を実施するものとする。

具体的な方法

- 4 段階評価の区分については、K P I 達成率の平均値をもとにした評価区分をベースとするが、主な取組の取組結果等を踏まえ、原則、上下1段階の変更を可能とする。
※特に4段階評価の区分を変更する場合は、取組結果に記載のアウトプット指標なども踏まえて、評価報告書の記載事項をもとに4段階評価の根拠を示す。

<様式の変更点>

- 小柱ごとの評価の末尾に「総合分析」として
 - ① 4 段階評価
 - ② 4 段階評価の根拠を記載（右記評価報告書イメージの赤点線囲い部分）
- 基本目標ごとに各小柱の一次評価や数値目標の達成状況を俯瞰して把握できるよう概要版資料を作成
⇒資料3「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025年度評価報告書概要版（素案）」

▼評価報告書イメージ

(3)移住・定住の促進

①移住の促進

【2025 年度の取組結果と今後の課題と方向性】

○ 県内各地域の魅力発信

（取組結果）

- 県内各地の魅力や、移住者と地域の方との交流を紹介する動画などを活用した移住促進プロモーションを実施【P R 映像の視聴数 249,502 回（2025）】＜地方創生関係交付金活用＞
- 県内市町村が移住・定住に取り組む中で直面する課題に応じて、専門的な知識や経験を有する民間人材を派遣【派遣市町村数 9 市町（2025）】＜地方創生関係交付金活用＞

（今後の取組に向けた課題と方向性）

- テレワーク体験を通じて移住先としての神奈川に関心をもってもらうため、都心の働く世代向けに、テレワーク拠点と地域の自然や暮らしの魅力をウェブサイトなどで発信

○ 移住希望者への相談・支援

（取組結果）

- …を実施【〇〇件数●件（2025）】＜企業販ふるさと納税活用＞

（今後の取組に向けた課題と方向性）

- …に関しては、…であったことから、…をさらに改善するため、…を実施

○ 市町村の移住促進の取組への支援

（取組結果）

- …を実施【〇〇件数●件（2025）】

（今後の取組に向けた課題と方向性）

- …に関しては、…であったことから、…をさらに改善するため、…を実施

【K P I 進捗状況】

KPI（重要業績評価指標）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
移住・定住関連ウェブサイトのパージビュー数（累計）	目標値			400,000PV	500,000PV	600,000PV
	実績値	200,162PV	300,000PV	380,000PV	●●PV	—
	達成率			95.0%	●●%	—
県や市町村の相談を経由して移住した人数	目標値			227 人	232 人	237 人
	実績値	222 人	223 人	233 人	●●人	—
	達成率			102.6%	●●%	—
【KPI 達成率の平均値】 ●●%						

【総合分析】

総合分析(県による一次評価)

順調に進んでいます

●●●●などの取組が順調に進捗しており、K P I も 2 項目中●項目で目標値を達成していることから、「順調に進んでいます」と評価しました。

※上記は説明用に作成したもので、実際の内容とは異なります。

3 一次評価と二次評価の実施方法まとめ

評価報告書（素案）で お示ししている内容		地方創生推進会議（本日の会議）で ご議論いただく内容
	一次評価（評価方法の見直しあり）	二次評価（昨年度から変更なし）
評価主体	県事業部局	地方創生推進会議
評価単位	小柱ごと	基本目標（大柱）ごと
評価項目	● 主な取組ごとの具体的な取組結果 ➢ 取組結果 ➢ 今後の取組に向けた課題と方向性 ● K P I 進捗状況 ➢ K P I 実績値 ➢ K P I 達成率の平均値 ● 総合分析 ➢ 4 段階評価 ➢ 4 段階評価の根拠	● 4 段階評価 （小柱ごとの一次評価や数値目標の達成状況、施策の進捗状況から総合的に判断（定性的な評価）） ● 今後の取組に向けた意見
評価報告書 への反映	● 小柱ごとに ① 主な取組ごとの具体的な取組結果 ② K P I 達成状況 ③ 総合分析（4 段階評価とその根拠）を掲載	● 基本目標ごとに 4 段階評価と今後の取組に向けた意見を掲載 ● 2025年度全体の所見や評価を「神奈川県地方創生推進会議の評価」に掲載

（参考）
黄色マーカーの箇所は、一次評価の見直し内容を反映させた箇所となります。

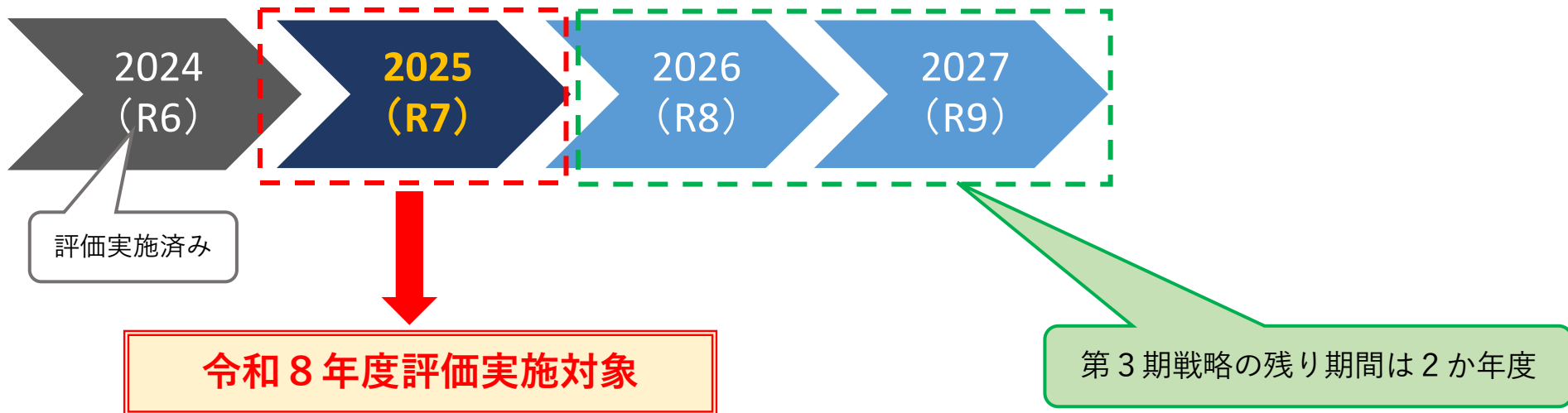
2025年度評価の実施方法

4 今回の評価対象期間

- 第3期総合戦略の計画期間（2024年度～2027年度）のうち、2025年度までの取組が完了
- 今回（令和8年度）は、2025年度（令和7年度）の取組結果について評価を実施

第3期総合戦略（計画期間：2024年度～2027年度）

次期総合戦略（2028年度～）



5 具体的な二次評価の方法（本日のご議論の視点）

■ 4 段階評価

- 県による一次評価の結果を踏まえながら、基本目標ごとの評価指標（数値目標）の達成状況や基本目標全体に対する施策の進捗状況を総合的に評価（定性的な評価）して**4 段階評価**を実施

< 4 段階評価の区分 >

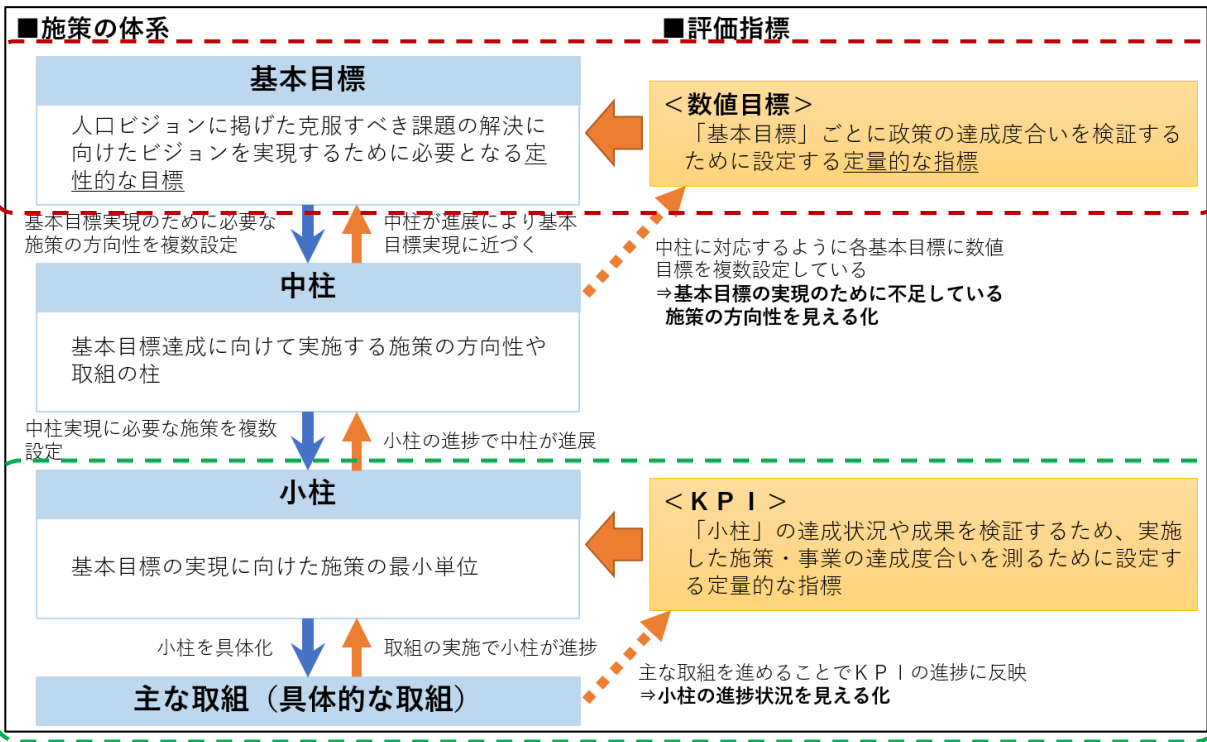
評価の区分	評価の考え方
順調に進んでいます	基本目標達成に向けた取組の <u>進捗状況が順調である</u> と判断できる場合
概ね順調に進んでいます	基本目標達成に向けた取組の <u>進捗状況が概ね順調である</u> と判断できる場合
やや遅れています	基本目標達成に向けた取組の <u>進捗状況がやや遅れている</u> と判断できる場合
遅れています	基本目標達成に向けた取組の <u>進捗状況が遅れている</u> と判断できる場合

■ 今後の取組に向けての議論

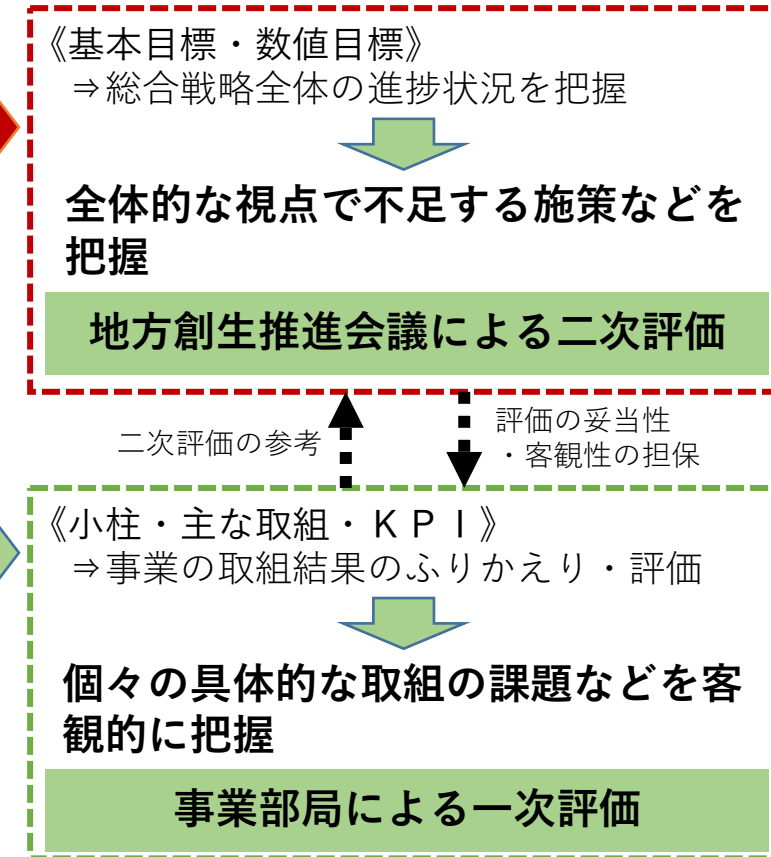
- 4 段階評価に加え、基本目標の達成に向けて、今後の県の取組（今後も進めていくべき取組や改善が必要な取組など）に関する議論
- 総合戦略全体（今後も継続していくべき取組の視点や現在の総合戦略に不足している視点など）に関する議論

【参考】施策体系（ロジックモデル）と一次評価・二次評価の関係

【施策体系（ロジックモデル）】



【評価の視点】



全体構成は、2024年度評価報告書からの変更はなし

■2025年度評価報告書（素案）

1 評価の概要

- ・ 神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要
- ・ 評価方法
- ・ 凡例

2 具体的な施策の評価

- ・ 神奈川県地方創生推進会議の評価
- ・ 基本目標ごとの評価
- ・ 小柱ごとの評価

一次評価・二次評価は
左記3か所に反映

3 地方創生に関する市町村との連携推進

【参考】 神奈川県地方創生推進会議の評価」 記載イメージ【素案P.10】

<記載方針>

評価部会や地方創生推進会議での総合戦略全体の進捗状況に係る評価（二次評価）や意見を記載

■記載内容

神奈川県地方創生推進会議の評価

- 総合戦略推進評価部会、第1回地方創生推進会議における総合戦略全体の進捗状況に係る評価や意見を記載

本日も議論いただく
内容①

■2024年度評価報告書からの変更点

(2024年度評価報告書から変更なし)

▼報告書イメージ

(2024年度評価報告書抜粋)

神奈川県地方創生推進会議の評価

- 「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間初年度である2024年度の取組結果について、県の一次評価を踏まえ、神奈川県地方創生推進会議において二次評価を行いました。その結果、基本目標1、2及び4では「順調に進んでいます」、基本目標3では「概ね順調に進んでいます」であり、施策全体としては、順調に進んでいると評価します。
- 一方で、今後、地方創生の取組をより効果的に進めていくために留意すべき課題もありますので、工夫や改善を図るべき事項について、4つの基本目標ごとに指摘しました。
- さらに、全体を通じて、次の点にも留意する必要があります。
 - ・ 神奈川県は地域ごとに多様性に富んでいることから、効果的な取組を進めるためには、地域ごとの分析を行い、地域の特性に応じた傾向と対策を立てること
 - ・ 県の地方創生の取組は多岐に渡っており、情報発信の方法についても県民の方に分かりやすく伝えるための工夫をすること
 - ・ 人材育成の取組については、人材を育成して終わりではなく、育成した人材の就業状況をその後も継続して調査すること
 - ・ 子どもたちが将来の夢や目標を持てなくなっているということが問題であり、子どもが自分の将来に希望が持てるような施策を推進すること
- 神奈川県も人口減少局面に入り、人口減少と超高齢化社会への対応がより一層求められますので、今後も、地方創生推進会議からの意見を踏まえ、デジタルの力も活用しながら、第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を着実に推進していくことが望まれます。

【参考】 「基本目標ごとの評価」 記載イメージ【素案P.12】

基本目標ごとに、地方創生推進会議による二次評価の結果と数値目標の達成状況をまとめる

■記載内容

□ 基本目標と基本目標のねらい ア

- 第3期評価報告書から転記

□ 基本目標の体系図 イ

- 中柱・小柱の体系図（概要版から転記）

□ 神奈川県地方創生推進会議による二次評価 ウ

- 総合戦略推進評価部会及び第1回地方創生推進会議の議論をまとめ、次の内容を記載
 - ✓ 4段階評価
 - ✓ 4段階評価の理由（評価根拠）
 - ✓ 今後の取組に向けた意見

本日ご議論いただく
内容②

□ 数値目標と2025年度までの実績値 エ

- 数値目標の目標値・実績値と実績値推移のグラフ

■2024年度評価報告書からの変更点

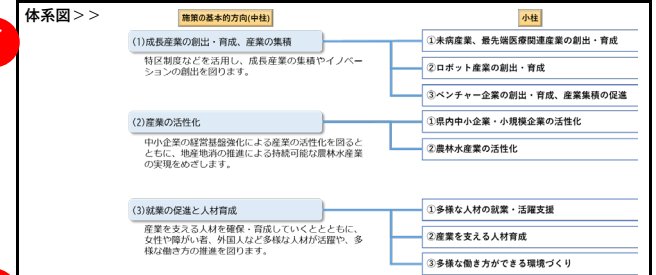
（2024年度評価報告書から変更なし）

▼報告書イメージ

（記載内容はサンプルであり実際のもものと異なります。）

基本目標1 神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る

ねらい>> 神奈川の成長力を生かした神奈川らしい成長産業の創出などに取り組むことにより、県内に魅力的なしごとの場をつくり、安定した雇用を生み出し、多様な人材が活躍して、多様で柔軟な働き方で一人ひとりが生き生きと働くことができる社会の実現をめざします。



神奈川県地方創生推進会議による二次評価

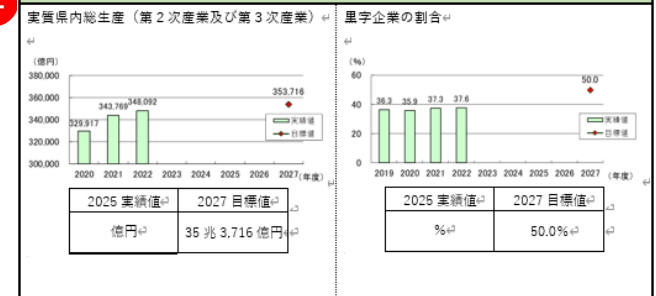
【評価】概ね順調に進んでいます

- 〇 …といったところは優れています。
- 〇 …といったところは、…と判断できることから、概ね順調に進んでいると評価します。

【今後の取組に向けた意見】

- 〇 …といったところは、…と思われます。
- 〇 …は、必要な取組と思われるので、引き続き…しながら、取り組む必要があります。
- 〇 …について、今後、…とする必要があります。

数値目標と2025年度までの実績値



【参考】K P I 達成率の平均値をもとにした評価区分の判断基準

■ K P I 達成率の平均値をもとにした評価区分の判断基準

- 判断基準などは「新かながわグランドデザイン 評価報告書2025」に準拠し、次のとおり設定

4段階の区分	判断基準
順調に進んでいます	小柱のK P I 達成率の平均値が90%以上
概ね順調に進んでいます	小柱のK P I 達成率の平均値が75%以上、90%未満
やや遅れています	小柱のK P I 達成率の平均値が60%以上、75%未満
遅れています	小柱のK P I 達成率の平均値が60%未満

< K P I 達成率の平均値の求め方 >

$$\text{K P I 達成率の平均値} = ([\text{各 K P I の達成率の和}] \div [\text{達成率を算出した K P I 数}]) \times 100$$

※ K P I 達成率が100.0%以上の場合は100.0%、マイナスの値の場合は0.0%として計算

< K P I 達成率の求め方 >

① K P I の数値設定が〔単年度〕

評価年度の目標値に対する実績値の割合

$$\text{達成率} = ([\text{実績値}] \div [\text{目標値}]) \times 100$$

② K P I の数値設定が〔累計〕〔総計〕

評価対象年度中の増加分（変化率）をもとに算出

$$\text{達成率} = ([\text{実績値}] - [\text{基準年度の実績値}]) \div ([\text{目標値}] - [\text{基準年度の目標値}]) \times 100$$

③ 削減方向に目標値を設定している K P I

ア 目標値に 0 が設定

現状値からの削減量をもとに算出

$$\text{達成率} = ([\text{基準値}] - [\text{実績値}]) \div ([\text{基準値}] - [\text{目標値}]) \times 100$$

イ 目標値に 0 が設定されていない

評価年度の実績値に対する目標値の割合

$$\text{達成率} = ([\text{目標値}] \div [\text{実績値}]) \times 100$$